

龍谷大学校友会 福岡県・北豊支部

結成十周年記念イベント開催に！

さらなる発展に向けて・・・



去る2月10日、小倉・永照寺にて定例の役員会が開催され、本年度活動の確認と来年度の活動計画が話し合われました。

来年度は平成28年7月1日に発会した当会にとって10周年という記念の年となり、この会報でも何度か触れてきたとおり「10周年にふさわしい特別な行事を」と以前から話し合いが進められてきました。すると、思いがけずスペシャルなイベント(ゲスト)が提案され、適当なことは言えないと今まで具体的にご報告できませんでした。このたびの会議にて正式に決定しましたのでここにお知らせ申し上げます。

総会、祝賀会につきましては例年通り5月中下旬に郵送のご案内をもってお申込みいただく予定ですが、記念行事に關してのみそれに先行して予約受けを行います。どうぞ奮ってご参加ください。また諸行事ともにスムーズに実施されますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【日程】2026年7月4日(土)

《総会》15時～16時

《記念行事》16時30分～17時30分

リリー・フランキー トークショー

『東京の青春 京都の青春(仮題)』

《祝賀会》18時～20時

*福岡県2支部交流懇親会を兼ねて

【会場】アートホテル小倉ニュータガワ

(小倉北区古船場町3-146)

リリー・フランキー氏トークショーについて

◆参加状況を把握するため整理券を発行いたしますので、参加ご希望の方は以下にご留意いただきお申込みください。

1、会員以外の方もご参加いただけます。ご家族やご友人等、どうぞお誘いあわせてご参加ください。

2、整理券はそれらの方々の方も含めてお申込みください。ただし一人につき5枚までとさせていただきます。

3、会場は300席のホールを準備しております。申込み締切りは3月末といたしますが、先着順にて整理券のなくなり次第終了とさせていただきます。ご了承ください。

4、お申込みは同封のはがきに必要事項を明記し郵送いただくか、またはそれをファックスするかでお願いいたします。

なお5枚以上ご希望の方は、追加枚数を指定の欄に一応ご記入ください。3月末にて空席がある場合、対応させていただきます。

5、整理券の配布は総会案内に同封して郵送いたしますが、締切り後に調整のうえ、配布枚数をとりあえずご連絡申し上げます。ご希望の添えない場合はご寛恕の程お願い申し上げます。

6、お手持ちの整理券が使用されないまままで終わらないようにご注意ください。来場できなくなった場合、代わりに参加いただける方にお譲りいただく等のご対応の程お願い申し上げます。それもご無理な場合は、事務局までご一報ください。

7、整理券とは別に参加費として1千円頂戴します。当日会場受け

にて整理券を提示したうえでお支払いいただけます。

▽以上、不明な点などございましたら、

☎(0930-7448-0075)遠慮なく事務局・大江(☎0930-7448-0075)までお尋ねください。



リリー・フランキー氏

私が龍谷大学を卒業してもうすぐ10年が経とうとしています。が、まだ当時の生活を鮮明に思い出すことができます。部活動やサークルには加入せず特筆出来るようなことはしてきませんでした。福岡の田舎（編集註：添田町）出身の私にとって京都はまるで異国に来たかのように新鮮でした。

とはいえ、新しい世界に胸を躍らせていたのも初めのうちだけで、慣れてきた頃には登下校以外に外出はせず、体を動かすことすら少なくなって大変な運動不足に陥りました。

下宿は深草学舎のそばだったため自転車を使っていたのですが、私は文学部であったため三回生になると大宮学舎に通うことになり、通学には電車を使うようになりました。

それからは一切自転車に乗ることもなくなつて、車体は錆びつきタイヤの空気も入っていない状態で放置していました（いま思い出すと罪悪感が溢れます）。

ある学期末試験の日、あろうことか寝坊をしてしまいました。電車やバスを待つ時間はなく、試験には確実に間に合わ

ないと絶望しましたが、ふと駐輪場に放置された自分の自転車の存在を思い出したので。錆びついてタイヤに空気も入っていない状態で、さらに自身も運動不足であるため無事に辿り着けるかも怪しいと感じましたが、試験に間に合わせるためには長い間放置してきたその自転車に頼ることしか思い付かなかったのです。私は我を忘れる勢いで漕ぎました。その時は運動不足とは思えないほどの力が出

離れて初めて

校友リレーエッセー



2019年・文学部卒

乗 永 昌 平

ていたと思います。おかげで試験に間に合うことができました。

満身創痍で万全とは言えない体調で試験に臨むことになってしまいました。長い間放置していた自転車に私は救われました。自分が忘れ去ったものに支えられたのです。物の有り難みは、離れて初めて知るということを痛感しました。

夏休みなどの長期休暇は毎度福岡まで

帰省しました。

京都の新しい生活では、今まで考えもしなかったことを必死で頑張らなくてはならなかったり、胸を躍らせるようなことがたくさんありました。そのせいで家族のことが頭から抜けてしまうこともありましたが、帰省するたびに家族は暖かく迎えてくれました。

一人暮らしで自炊もまともにしなかったため、改めて母の手料理の美味しさが身に染みました。日頃当たり前にあったものが当たり前でなくなったとき、「あつて当然」という自分の無意識に気付かされました。

必死になって頑張ったりすると大切なものでもすぐに忘れたり、放置してしまう私です。しかし、そんな私を支えてくれるものがあるということは大変有り難いことです。

また離れることで初めて、日頃当たり前と思っていたことが当たり前ではなかったと気付かされます。

私にとって大学生活はそんなことを学ぶことができた、大きな意義のある思い出です。

龍谷のな小町総会参加報告



北豊支部副支部長 加藤砂恵子

(1987年文学部卒)

昨年11月2日に龍谷大学校友会「龍R on 小町」(校友会の女性部門*編集註) 第10回総会が深草学舎で開催され、参加させていただきました。今回は初の試みということで龍谷祭中のホームカミングデーにあわせての実施だったので、キャンパス内は学生さんとはもとより、大勢の人で賑わっていました。

総会では2名の方より活動報告があり、どちらでも支部単独ではなく他支部との合同開催の報告で、とても参考になりました。北豊支部も女性会員の参加が少なく単独開催は難しいので、他支部と協力してできたらと思います。

総会ののち、今年度は阪神・淡路大震災から30年という節目にあたるということで大学の先生方から「防災」に関する講演がありました。日常生活での防災意識の高め方や、被災現場での地域や周囲との連携についてお話しただき、とても勉強になりました。

その後特設の「龍R on cafe」にて参加の皆さんと懇談の時間があり、交流を図ることができました。その際、瀬戸内海に面

している支部で作られた「瀬戸内会」の方から北豊支部も少し瀬戸内海に面していると誘いをいただき、加えてもらうこととなりました。また来年度は山口支部さんの活動に参加させていただくことになったりと、大変有意義な一日となりました。それぞれ日程など決まりましたらご案内いたしますので、どうぞご参加、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

事務局より

加藤さんには本年度から副支部長としてご尽力いただいておりますが、同時に(といってもこちらは数年前からですが)支部の龍R on小町代表もお引き受けいただいております。

そして、来年度からは龍R on小町の本役員に就任することとなりました。

本部(京都)とは距離が遠くて大変なことも多々あるかと思われませんが、支部代表として頑張ってください。また支部会員の皆さま方にはよろしくご支援いただきますよう、お願いいたします。



事務局雑感

▼ようやく10周年記念行事について発表することができ、すっきりしました。言うだけ言って駄目だったら、とか考えて明言を避けてきましたが、このたびの役員会で仲介いただいた方から確約をいただき1ページで発表しような次第となりました。▼リリー・フランキー トークショーと銘打ちましたが、仲介者によると壇上で一人で長々と喋るのはちょっと、ということらしく、対談というか雑談のよつな形でいろいろとお話を伺うということになりました。そしてその対談者、お話の聞き手を務めるのが仲介をとってくださった本会会員のK氏です。それがどなたかは当日のお楽しみということで、どうぞ奮ってのご参加、お待ちしています。▼それにしても10年という時をどう受け止めたらよいか、特にこの10年間には新型コロナの感染流行があったり、ロシアのウクライナ侵攻や安部首相銃撃事件など、重苦しい出来事が多く、あつという間とも言えれば、嫌な雰囲気が続いているとも言える、どちらにしても希望に満ちた時代とはとても言いがたい時間でした。▼そんななかで校友会だけが単純に、10年続いてよかったね、目出たいねとは言えないものがありますが、せめてここで出遇ったことを喜びとして語りあっている、そんな校友会活動でありたいと念ずるところです。(記・〇)

龍谷写真館 11月号



・(上) 加藤さん、総会会場前で記念の一枚ですが、中央は東京支部の支部長さんで、こちらは加藤さんの吹奏楽部時代の2年先輩にあたる方だそうです。図らずもか、図ってかわかりませんが、こんな出会いもあって校友会は面白い!!



第10回龍Ron小町総会

・(上) 総会后、出席者の皆さんによる集合写真。ガンパルゾー、エイ、エイ、オー! 詳細3ページをご覧ください。



・(右) 特設の龍Roncafeにて。右手前、北豊支部代表として参加の加藤砂恵子さん。
・(左下) お酒は、能登でボランティア活動をする学生さんたちが購入を通じて被災地支援にもつながると選んできて提供したものだそうです。素晴らしい取り組みですが、出来ることなら前日の全国支部長会の懇親会場にも置いておいてほしい、と思ってしまう私でした……。



全国支部長会
・(右、左) こちらは龍Ron小町総会の前日、11月1日に同じく和願館2階の教室にて開催され、事務局・大江が出席しました。総会後の懇親会へのちよし振りに木屋町まで足を延ばし、ちよつと学生時代の雰囲気味わってききました。



支部会報『黎明』バックナンバー閲覧について

パソコンやスマホで『龍谷大学校友会』と検索してそのホームページを開くと『校友会報・支部の会報』とあり、さらに進んで『支部の会報』を開くとそこに創刊からの北豊支部会報が保存されています。ご自分で見たいときはもちろん、新規会員勧誘に際し活動内容を具体的に説明する場合などにご活用いただければと思っています。なお第17号は事務局のミスにて存在しません。ご了承ください。